令　和　5　年　度

航　空　旅　客　動　態　調　査

報　告　書

＜日集計表＞

令和 6 年 10 月

国土交通省　航空局

令和５年度　航空旅客動態調査 報告書
＜ 日集計表 ＞

目　次

第１部　調査概要

１.航空旅客動態調査について 1-1
２.調査内容 1-1
３.調査対象 1-4
４.調査方法 1-4
５.調査実施日 1-4
６.調査票回収状況 1-4
７.日別集計表：利用に際しての留意事項について 1-6

第２部　平日調査集計結果

平日　表１　ＯＤ表（空港間純流動） 2-1
平日　表２　ＯＤ表（空港間総流動） 2-9
平日　表３　ＯＤ表（県間流動） 2-17
平日　表４　空港別　出発地・目的地・現住所 2-20
平日　表５　空港別　出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数 2-260
平日　表６　ＯＤ別　旅行目的 2-262
平日　表７　ＯＤ別　旅行日数 2-269
平日　表８　ＯＤ別　旅行行程 2-275
平日　表 9-1　路線別　利用航空券の種類 2-281
平日　表 9-2　路線別　利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳） 2-287
平日　表 9-3　ＯＤ別　利用航空券の種類 2-293
平日　表 9-4　ＯＤ別　利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳） 2-300
平日　表 10　ＯＤ別　乗り換え空港 2-308
平日　表 11-1　出発空港別最終アクセス手段・到着空港別最初イグレス手段・駐車場利用の有無 2-323
平日　表 11-2　出発空港別　代表アクセス手段・到着空港別代表イグレス手段 2-332
平日　表 12　出発空港別　アクセス所要時間・乗り換え回数 2-341
平日　表 13　出発空港別　アクセス経費 2-345
平日　表 14　出発空港別　見送り人数・空港滞留時間 2-349
平日　表 15-1　空港間移動の手段 2-354
平日　表 15-2　空港間移動の所要時間 2-356
平日　表 15-3　空港間移動の経費 2-357

平日　附表１　路線別内際乗継利用回答状況（海外→国内線乗継）.....2-358
平日　附表２　路線別内際乗継利用回答状況（国内線→海外乗継）.....2-360

第３部　休日調査集計結果

休日　表１　　ＯＤ表（空港間純流動）.....3-1
休日　表２　　ＯＤ表（空港間総流動）.....3-9
休日　表３　　ＯＤ表（県間流動）.....3-17
休日　表４　　空港別　出発地・目的地・現住所.....3-20
休日　表５　　空港別　出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数.....3-271
休日　表６　　ＯＤ別　旅行目的.....3-273
休日　表７　　ＯＤ別　旅行日数.....3-280
休日　表８　　ＯＤ別　旅行行程.....3-287
休日　表 9-1　路線別　利用航空券の種類.....3-294
休日　表 9-2　路線別　利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）.....3-300
休日　表 9-3　ＯＤ別　利用航空券の種類.....3-306
休日　表 9-4　ＯＤ別　利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）.....3-313
休日　表 10　ＯＤ別　乗り換え空港.....3-321
休日　表 11-1 出発空港別最終アクセス手段・到着空港別最初イグレス手段・駐車場利用の有無.....3-339
休日　表 11-2 出発空港別　代表アクセス手段・到着空港別代表イグレス手段.....3-348
休日　表 12　出発空港別　アクセス所要時間・乗り換え回数.....3-357
休日　表 13　出発空港別　アクセス経費.....3-361
休日　表 14　出発空港別　見送り人数・空港滞留時間.....3-365
休日　表 15-1 空港間移動の手段.....3-370
休日　表 15-2 空港間移動の所要時間.....3-372
休日　表 15-3 空港間移動の経費.....3-373
休日　附表１　路線別内際乗継利用回答状況（海外→国内線乗継）.....3-374
休日　附表２　路線別内際乗継利用回答状況（国内線→海外乗継）.....3-376

第１部

調　査　概　要

１．航空旅客動態調査について

航空旅客動態調査（以下、本調査と呼称する）は、わが国における国内航空旅客の流動パターン（出発地・出発空港・乗換空港・目的空港・目的地)、航空旅客の属性・旅行目的・個人属性、空港のアクセス・イグレスの実態、国際線との乗り継ぎ状況等の基礎的データについての調査を行うことにより、国内線航空旅客の流動特性を把握し、今後の航空行政を検討するための基礎資料を得ることを目的としている。なお、調査は統計法に基づく一般統計調査として、国土交通省航空局が国内航空各社のご協力を頂きながら実施をしているものであり、第 1 回の昭和 48 年調査より、隔年での実施を基本とし、令和５年度調査は第 27 回次の調査となっている。

２．調査内容

本調査は、以下に示す調査項目にて構成しており、各設問は次頁の調査票見本に示すとおりである。本調査は、「平日調査」と「休日調査」の 2 回を実施しているが、いずれも全く同一の調査票を用いて実施している。ただし、双方の調査票を区別するため、平日調査票は黒色、休日調査票は濃青色にて印字した調査票を用いて実施している。

（１）出発地
（２）空港アクセス実態
　① 利用交通手段
　② 所要時間
　③ 経費
　④ 空港滞留時間
　⑤ 自家用車、社用・公用車での来港者の駐車場利用の有無
（３）出発空港
（４）利用航空券の種類・座席の種類
（５）乗継空港・到着空港
（６）到着空港イグレス交通手段
（７）目的地
（８）旅行目的等
　① 旅行目的
　② 旅行日数
　③ 旅行行程（往復行程の相違）
　④ 国際線利用の有無と国際線乗り換え空港
　⑤ 同行者数
　⑥ 見送り人数
（９）個人属性
　① 性別
　② 年齢
　③ 職業
　④ 年収（税込み）
　⑤ 現住所・国
　⑥ 家族同行者の属性（性別・年齢・職業・年収）

000001

秘

航空旅客動態調査票

Travel Survey for Domestic Air Passengers

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

国土交通省では、飛行機を利用して移動されている皆様がより安全・快適に旅行をしていただけるよう、今後の航空政策の立案企画に活用するため「航空旅客動態調査」を実施しております。この調査は無記名で実施し、ご記入いただいた内容は統計的に処理いたしますので、皆様にご迷惑をおかけすることはございません。
お手数をおかけ致しますが、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

This questionnaire is part of a survey being conducted by Japan's Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism to review future Japanese transport policy.

※ご回答の前に、ご一読下さい。

1. **日帰り旅行の方**：行きの便でご回答頂いた場合でも、お手数ですが**もう一度ご回答下さい。**
2. **国内線を乗継いで目的地に行かれる方**：本日、既に調査にご協力頂いた場合は**ご回答頂く必要はありません。**
3. **現住所が同一のご家族で旅行されている方：代表者の方1名様のみ**ご回答下さい。
4. **以下の質問にご回答下さい。選択式の問いは該当する番号を○で囲んで下さい。**
   Please provide the information requested below.
   If you cannot read Japanese, please answer the questions 1,3-2,3-3 and 5-1 only.

問１．今回の旅行についてお聞きします。（Question 1. Please answer for this travel.）

問1-1：旅行の主な目的をお答え下さい。What is the main purpose of your travel?

1. 仕事 Business　2. 観光※1 Sightseeing/Recreation/Shopping　3. 観光以外の私用・帰省※2 Visiting friends or relatives　その他 Other

※1 観光には、温泉、街歩き、ショッピング、イベント参加、コンサート・演劇鑑賞・美術展、レクリエーションとしてのスポーツ活動・観戦、体験学習を含む。
※2 私用・帰省には、親類や友人宅への訪問、結婚儀礼等への出席、通院、習い事、介護のための帰省を含む。

問1-2：旅行日数をお答え下さい。How many days is your travel schedule?

1. 日帰り One day
2. 宿泊を伴う旅行 Two days or more ⟶ 全体日数＿＿泊＿＿日 All schedule Nights Days　本日の行程＿＿＿日目 Which day is today in your itinerary?

問1-3：旅行の帰り（または行き）に、現在と同じ航空路線を利用しますか（しましたか）。
Are your inward and outward-bound flight routes the same?

1. 利用する（利用した） Same route　2. 他の航空路線を利用する（利用した） Different route　3. 他の交通機関を利用する（利用した） Different form of transportation
4. 転居・赴任等により片道の旅行 One way　5. 未定 undecided

質問は裏面に続きます

問２．直近の出発地からご搭乗便の出発空港までの移動についてお聞きします。

直近の出発地

問2-1：直近の出発地はどこですか。

1. 現住所（自宅等）が直近の出発地
2. 現住所以外が直近の出発地

※直近の出発地とは、現在ご搭乗便の出発空港前に最後にお立ち寄りになられた場所（駅、バス停、空港、港は除く）になります。

都道府県　区市郡　区町村

≪ 直近の出発地の住所がわからない方 ≫
・直近の出発地のホテル名、観光地名等をご記入下さい。
・直近の出発地が海外の方は国名をご記入下さい。

問2-2：ご搭乗便の出発空港までに利用した交通機関を順番にご記入下さい。

直近の出発地（問2-1） → ○ → ○ → ○ → ○ → ○ → ご搭乗便の出発空港（問3-1）

↑交通機関番号を記入

1. 新幹線　2. 有料特急（新幹線除く）　3. JR在来線（新幹線・特急除く）
4. 私鉄・地下鉄　5. モノレール　6. 空港直行バス（主要駅から空港直行）
7. 高速バス（空港直行以外）　8. 貸切りバス・観光バス　9. 路線バス・市内電車
10. タクシー・ハイヤー　11. 自家用車、社用・公用車　12. レンタカー
13. 船　14. 国際線　15. その他（徒歩・自転車等）

※日本到着空港をご記入下さい。
空港
⇒国際線到着空港から直接ご搭乗便に乗り換いた方に聞いるへ

※車の状況をご選択下さい。
1. 車は空港内の駐車場に停めている。
2. 車は空港外の近くの駐車場に停めている。
3. 車は同乗者が乗って帰った。

問2-3：直近の出発地からご搭乗便の出発空港までの所要時間をお答え下さい。
※国際線を利用された方は、国際線到着空港から搭乗便の出発空港まで

1. 30分以内　2. 31分～1時間　3. 1時間1分～1時間30分　4. 1時間31分～2時間
5. 2時間1分～2時間30分　6. 2時間31分～3時間　7. 3時間1分以上

問2-4：直近の出発地からご搭乗便の出発空港までの一人当たりの交通費をお答え下さい。※国際線を利用された方は、国際線到着空港から搭乗便の出発空港まで

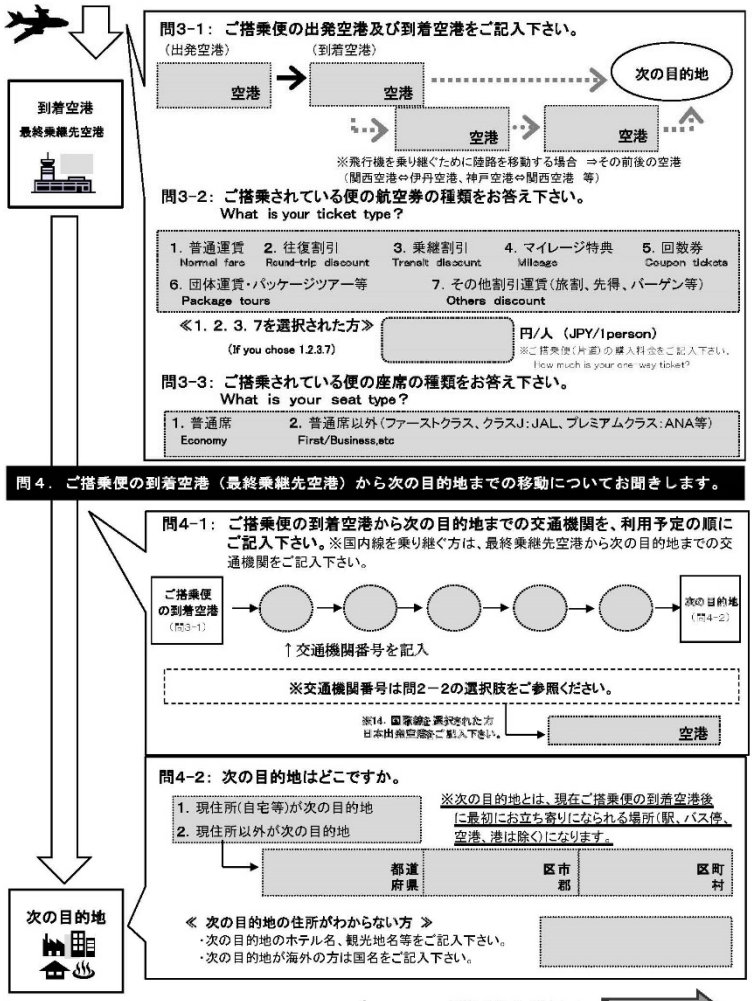
1. 1,000円以下　2. 1,001～2,000円　3. 2,001～3,000円　4. 3,001～4,000円
5. 4,001～5,000円　6. 5,001～10,000円　7. 10,001円以上

問2-5：出発空港に着いたのは、飛行機の出発予定時刻の何時間何分前ですか。

＿＿時間　＿＿分 前

ご搭乗便出発空港

問３．ご搭乗便と今後の国内乗り継ぎ便についてお聞きします。



問3-1：ご搭乗便の出発空港及び到着空港をご記入下さい。

（出発空港）　（到着空港）

空港 → 空港 ⇢ 次の目的地

空港 → 空港 ⇢

※飛行機を乗り継ぐために陸路を移動する場合 ⇒その前後の空港
（関西空港⇔伊丹空港、神戸空港⇔関西空港 等）

問3-2：ご搭乗されている便の航空券の種類をお答え下さい。
What is your ticket type？

1. 普通運賃 Normal fare　2. 往復割引 Round-trip discount　3. 乗継割引 Transit discount　4. マイレージ特典 Mileage　5. 回数券 Coupon tickets
6. 団体運賃・パッケージツアー等 Package tours　7. その他割引運賃（旅割、先得、バーゲン等） Others discount

≪1. 2. 3. 7を選択された方≫
(If you chose 1.2.3.7)　　円/人 （JPY/1person）
※ご搭乗便（片道）の購入料金をご記入下さい。
How much is your one-way ticket?

問3-3：ご搭乗されている便の座席の種類をお答え下さい。
What is your seat type？

1. 普通席 Economy　2. 普通席以外（ファーストクラス、クラスJ：JAL、プレミアムクラス：ANA等） First/Business,etc

問４．ご搭乗便の到着空港（最終乗継先空港）から次の目的地までの移動についてお聞きします。

問4-1：ご搭乗便の到着空港から次の目的地までの交通機関を、利用予定の順にご記入下さい。※国内線を乗り継ぐ方は、最終乗継先空港から次の目的地までの交通機関をご記入下さい。

ご搭乗便の到着空港（問3-1） → ○ → ○ → ○ → ○ → ○ → 次の目的地（問4-2）

↑交通機関番号を記入

※交通機関番号は問2－2の選択肢をご参照ください。

※14. 国事線を選択された方
日本出発空港をご記入下さい。 → 空港

問4-2：次の目的地はどこですか。

1. 現住所(自宅等)が次の目的地
2. 現住所以外が次の目的地

※次の目的地とは、現在ご搭乗便の到着空港後に最初にお立ち寄りになられる場所（駅、バス停、空港、港は除く）になります。

都道府県	区市郡	区町村

≪ 次の目的地の住所がわからない方 ≫
・次の目的地のホテル名、観光地名等をご記入下さい。
・次の目的地が海外の方は国名をご記入下さい。

質問は裏面に続きます

問５．あなたご自身や同行されているご家族についてお聞きします。

問5-1：あなたご自身の現住所についてお答え下さい。(Question5-1. What is your current address?)

＜日本にお住まいの方 For Japan residents only＞

現住所 Address	都・道 府・県 Prefecture	区・市 郡 City/District	区・町 村 Ward/Town/Village

＜日本以外にお住まいの方 For Non-Japan residents only＞

お住まいの国 Country of Residence		国籍 Nationality	

問5-2：3才以上の旅行者の人数をお答え下さい。(あなたご自身、ご家族以外も含みます)。

人

問5－3：ご自身の性別・年齢・職業・年収をご本人欄に番号でご記入下さい。
※家族1から家族5の欄には、同行されているご家族(現住所が同一の方)についてご記入下さい。

	選択肢	記入例	ご本人	家族1	家族2	家族3	家族4	家族5
性別	1. 男　2. 女	1						
年齢	1. 14歳以下　2. 15～19歳　3. 20～24歳　4. 25～29歳 5. 30～34歳　6. 35～39歳　7. 40～44歳　8. 45～49歳 9. 50～54歳　10. 55～59歳　11. 60～64歳　12. 65～69歳 13. 70～74歳　14. 75～79歳　15. 80歳以上	6						
職業	1. 管理的職業（役員・管理職員）　2. 専門・技術・事務関係職業 3. 販売・サービス関係職業　4. 農林漁業関係職業 5. 生産・運輸関係職業　6. その他の職業　7. 中学生以下 8. 高校生以上の学生　9. 主婦・主夫（職業従事者を除く） 10. 無職	2						
年収＊	1. なし　2. 100万円未満　3. 100～199万円 4. 200～299万円　5. 300～399万円　6. 400～499万円 7. 500～699万円　8. 700～999万円　9. 1,000～1,499万円 10. 1,500～1,999万円　11. 2,000万円以上	6						

＊ 年収についての設問は、旅客の平均的な年収を算出することにより、航空利用者全体の時間に対する価値観（時間価値）を計算し、航空政策の参考とするためにお聞きしています。

問5-4：空港までのお見送りの方についてお答え下さい。(小学生以上)

1. 見送りはない　　2. 見送りがあった ⟶ ＿＿＿＿＿＿人

ご協力ありがとうございました。
Thank you for your cooperation on this important survey.

３．調査対象

本調査は、調査実施日に運航する、国内線定期便及び定時運航する不定期便を利用する、全航空旅客を対象としている。

４．調査方法

本調査の調査方法は、国内航空各社（21 社）からのご協力を得て、原則として客室乗務員が調査対象者（航空旅客）に、航空機内において調査票を配布・回収する形式にて行っている。

ただし、機内での配布・回収が困難な航空便（フライト時間が短い、客室乗務員が乗務しない 等々）においては、搭乗口にて配布・機内で回収を行う方法や、あらかじめ座席に調査票をセットして機内で回収する方法、搭乗手続き時に職員が調査票を配布・搭乗前に回収を行う方法等を用いている。

５．調査実施日

本調査は、平日と休日の旅客流動特性の違いを把握するため、平成 17 年度より平日調査と休日調査の 2 回（各 1 日）を行っている。

令和 5 年度調査においては、調査日を「令和５年 11 月８日（水）【平日調査】」、「11 月 12 日（日）【休日調査】」と設定して実施した。なお、平日運航便のうち、水曜日に運航のない曜日運航便については、11 月９日（木）、10 日（金）のいずれかの運航日を調査実施日としている。

また、翌週の同じ曜日を調査予備日として設定し、天候不良等で調査を実施できなかった一部の航空便に対して、再調査を行っている。

６．調査票回収状況

調査実施日における平日・休日調査別の旅客実績及び回収調査票数等は、次ページの表に示すとおりである。

令和５年度 航空旅客動態調査　平日・休日調査別旅客実績・調査票回収結果

	平日調査					休日調査					合計				
	提供座席数	旅客数	搭乗率	回収数	回収率	提供座席数	旅客数	搭乗率	回収数	回収率	提供座席数	旅客数	搭乗率	回収数	回収率
	(A)	(B)	(B/A)	(C)	(C/B)	(A)	(B)	(B/A)	(C)	(C/B)	(A)	(B)	(B/A)	(C)	(C/B)
日本航空株式会社 JALグループ会社（JAIR・JTA・HAC・JAC・RAC）	129,484	93,808	72.4%	52,523	56.0%	130,326	112,081	86.0%	62,143	55.4%	259,810	205,889	79.2%	114,666	55.7%
全日本空輸株式会社 ANAグループ会社（AKX）	141,928	90,616	63.8%	60,528	66.8%	144,402	121,964	84.5%	81,554	66.9%	286,330	212,580	74.2%	142,082	66.8%
スカイマーク株式会社（SKY）	26,550	19,780	74.5%	13,783	69.7%	26,550	23,514	88.6%	15,190	64.6%	53,100	43,294	81.5%	28,973	66.9%
株式会社 AIRDO（ADO）	11,808	7,191	60.9%	5,182	72.1%	12,096	9,615	79.5%	6,959	72.4%	23,904	16,806	70.3%	12,141	72.2%
株式会社ソラシドエア（SNJ）	13,932	8,887	63.8%	6,374	71.7%	13,932	11,105	79.7%	6,751	60.8%	27,864	19,992	71.7%	13,125	65.7%
Peach aviation株式会社（APJ）	20,220	16,509	81.6%	9,374	56.8%	21,348	19,243	90.1%	10,614	55.2%	41,568	35,752	86.0%	19,988	55.9%
ジェットスター・ジャパン株式会社（JJP）	15,700	11,874	75.6%	7,773	65.5%	17,384	15,587	89.7%	9,250	59.3%	33,084	27,461	83.0%	17,023	62.0%
株式会社スターフライヤー（SFJ）	10,044	6,636	66.1%	4,530	68.3%	10,044	8,147	81.1%	4,416	54.2%	20,088	14,783	73.6%	8,946	60.5%
アイベックスエアラインズ株式会社（IBX）	3,920	2,947	75.2%	2,218	75.3%	3,920	3,587	91.5%	2,859	79.7%	7,840	6,534	83.3%	5,077	77.7%
株式会社フジドリームエアラインズ（FDA）	7,576	4,545	60.0%	2,234	49.2%	7,744	6,227	80.4%	5,610	90.1%	15,320	10,772	70.3%	7,844	72.8%
スプリング・ジャパン株式会社（SJO）	1,890	977	51.7%	864	88.4%	2,268	1,777	78.4%	1,287	72.4%	4,158	2,754	66.2%	2,151	78.1%
新中央航空株式会社（CUK）	456	277	60.7%	253	91.3%	437	268	61.3%	220	82.1%	893	545	61.0%	473	86.8%
オリエンタルエアブリッジ株式会社（ORC）	3,196	2,170	67.9%	1,585	73.0%	3,232	2,145	66.4%	1,642	76.6%	6,428	4,315	67.1%	3,227	74.8%
天草エアライン株式会社（AMX）	288	125	43.4%	123	98.4%	480	248	51.7%	106	42.7%	768	373	48.6%	229	61.4%
東邦航空株式会社（TAL）	90	59	65.6%	45	76.3%	90	53	58.9%	41	77.4%	180	112	62.2%	86	76.8%
合計	387,082	266,401	68.8%	167,389	62.8%	394,253	335,561	85.1%	208,642	62.2%	781,335	601,962	77.0%	376,031	62.5%

７．日集計表：利用に際しての留意事項について

令和５年度の調査結果について、平日調査・休日調査の別に、第２部「平日調査 集計結果」・第３部「休日調査 集計結果」として、集計表（表１から表 15）をそれぞれ整理している。また、次頁以降の各項目において、各表の読み方や利用に際して特に留意する必要がある点を記載するものである。

なお、本表に掲載するいずれの集計表も、本調査に対して回答をした旅客数（回答数）を集計したものである点に留意されたい。

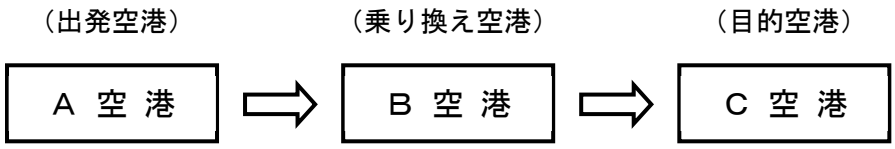
表１　ＯＤ表（空港間純流動表）

表１は、回答者の調査実施日における空港間の純流動ベースでの OD を示した表であり、国内線の乗継の有無にかかわらず、回答者の出発地側の利用空港（出発空港）と目的地側での利用空港（目的空港）の 2 地点間のトリップ（目的を持った移動）に絞った集計表である。このため、表 1 の総トリップ数と回答者数は一致する。

以下の例に示すとおり、調査実施日に A 空港を出発して B 空港で国内線を乗りつぎ、最終的に C 空港に至った旅客は、その途中における乗り換えの有無にかかわらず、[A 空港] → [C 空港] のトリップを行った旅客として集計される。

このため、純流動ベースの OD 表においては、航空路線が開設・運航されていない空港間における流動も集計される。

例　　**（乗り換えを１回行った場合）**



目的空港 / 出発空港	A	B	C
A	0	0	1
B	0	0	0
C	0	0	0

この場合、A 空港から C 空港への移動としてカウントされる。

表２　ＯＤ表（空港間総流動表）

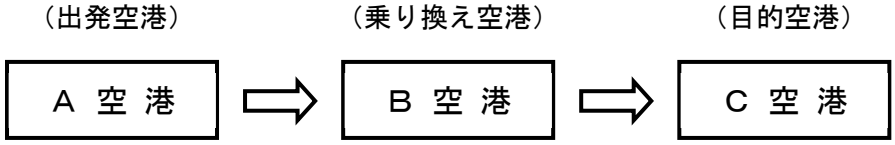
表２は、調査実施日の各路線における回答者数について集計したものであり、空港間の総流動ベースの OD 表である。

空港間総流動は、一人の回答者が複数路線を乗りついだ場合にも、利用した各々の路線に一人ずつを計上する点において、表１（空港間純流動表）と異なっている。

以下の例に示すとおり、A 空港を出発し、B 空港で国内線を乗りつぎ、最終的に C 空港に至った旅客は、[A 空港] → [B 空港] の区間を１トリップ、乗りつぎ先の [B 空港] → [C 空港] の区間を１トリップの計２トリップとして集計される。

したがって、空港間総流動ベースの OD 表では、原則として航空路線が開設・運航されている空港間の流動が集計される。ただし、国内線を乗り継ぐ為に、地上交通機関を利用して空港間を移動した場合（成田－羽田間等）も表２の集計値に含むものである。

例　　**（乗り換えを１回行った場合）**



目的空港 ＼ 出発空港	A	B	C
A	0	1	0
B	0	0	1
C	0	0	0

この場合、A 空港から B 空港、B 空港から C 空港への移動がそれぞれカウントされる。

表３　ＯＤ表（県間流動表）

表３は、回答者の出発地（出発空港側）・目的地（到着空港側）の移動の観点から、都道府県間における流動量を集計したものであり、純流動ベースの OD 表である。

すなわち、回答者がどの都道府県（出発地）からどの都道府県（目的地）への移動に際して航空路を利用したのかについて集計したものであり、航空路の存在しない都道府県間の流動も存在する。また、都道県内々の空港を結ぶ航空路線があるため、同一都道県内々の流動も存在している。

なお、調査実施日において、国際線から国内線への乗りつぎ（または、その逆）を行った回答者については、「海外」を出発地（または、目的地）として集計をしている。また、出発地・目的地が無回答や不明な回答の場合には、「不明」として集計をしている。

表４　空港別　出発地・目的地・現住所

表４は、回答者が利用した出発空港（または目的空港）について、空港を点とした利用範囲の広がりに着目して集計をしたものである。集計項目は、当該空港で国内線に搭乗した回答者の出発地、降機した回答者の目的地（と乗降した回答者の合計値）、並びに当該空港における乗降者の現住所地を示している。

なお、国内線を乗り継いだ回答者は、出発空港と目的空港について集計し、乗継空港の利用は集計に含まない。このため、表１（空港間純流動表）の各空港の出発／到着回答者数と表４の集計値は一致する。

例）表４　空港別 出発地・目的地・現住所（羽田空港）

東京国際（羽田）　　休日　表４　空港別　出発地・目的地・現住所（34）　　単位：人

地区名		出発旅客数（出発地）	%	到着旅客数（目的地）	%	合計（乗降旅客数）	%	乗降客の現住所	%
東京都	千代田区	863	1.5	857	1.5	1,720	1.5	235	0.2
	中央区	1,152	2.0	1,016	1.8	2,168	1.9	658	0.6
	港区	1,991	3.5	1,451	2.6	3,442	3.1	1,041	0.9
	新宿区	1,345	2.4	1,045	1.9	2,390	2.1	875	0.7
	文京区	611	1.1	633	1.1	1,244	1.1	697	0.6
	台東区	518	0.9	425	0.8	943	0.8	410	0.4
	墨田区	371	0.7	434	0.8	805	0.7	508	0.4
	江東区	755	1.3	919	1.6	1,674	1.5	1,173	1.0

項目	内容
○出発旅客数（出発地）	▪ 羽田空港発の国内線に搭乗した回答者の「出発地」について、市区郡（または、町村）別に人数を集計したものである。「出発地」とは、調査当日の回答者のトリップにおいて、羽田空港に向けて移動を始めた地点である。なお、羽田空港にて国内線を乗り継いだ回答者は、表 4 の集計値に含まない（例：新千歳 発→羽田 乗継→那覇 着など）。 ▪ 上記の例では、千代田区を出発地としてから羽田空港の出発便に搭乗した回答者が 863 人であったことを示している。 ※羽田空港を出発した各回答者の到着地については、各々の目的空港における「到着旅客数（目的地）」の項目に集計される。
○到着旅客数（目的地）	▪ 羽田空港着の国内線を降機した回答者の「目的地」について、市区郡（または、町村）別に人数を集計したものである。「目的地」とは、羽田空港から先の回答者のトリップにおける目的地を意味している。なお、羽田空港で降機後、別の国内線を乗り継いだ回答者は表 4 の集計値には含まない（例：新千歳 発→羽田 乗継→那覇 着など）。 ▪ 上記の例では、羽田空港に到着した回答者のうち、千代田区を目的地とする回答者が 857 人であったことを示している。 ※羽田空港に到着した各回答者の出発地については、各々の出発空港における「出発旅客数（出発地）」の項目に集計される。
○合計（乗降客数）	「出発旅客数（出発地）」と「到着旅客数（目的地）」の項目の合計値を示している。
○乗降客の現住所	▪ 羽田空港を利用した回答者の現住所地について、市区郡（または、町村）別に人数を集計したものである。なお、羽田空港で国内線を乗り継いだ回答者は表 4 の集計値には含まない。 ▪ 上記の例では、羽田空港を利用した回答者のうち、235 人が千代田区を現住所地と回答したことを示している。

表５　空港別　出発旅客数・到着旅客数・乗継旅客数

表５は、各空港における回答者の国内線乗継利用の割合を示すものである。表中の「出発旅客数(A)」「到着旅客数(B)」は表１（空港間純流動表）による空港別回答者数（各空港を出発空港・目的空港とする回答者数）である。また、各空港内で国内線間の乗継利用をした回答者数を(D)欄にて示し、国内線を乗り継ぐ為に他空港との地上移動を行った回答者は(D)欄に含まず、外部乗継者数として(E)欄に記載している。

例）表５　空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数

平日　表５　空港別　出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数（1）

単位：人

空港名	出発旅客数(A)	到着旅客数(B)	合　計 (C) (A)+(B)	乗継旅客数 (D) (当空港内)	外部乗継者数 (E) (当空港外)	取扱旅客数(F) (C)+[(D)*2]+(E)	乗継旅客率　% (D)*2÷(F)
稚　内	91	157	248	0	0	248	0.0
釧　路	771	621	1,392	0	0	1,392	0.0
函　館	1,654	1,882	3,536	13	0	3,562	0.7
旭　川	797	885	1,682	0	0	1,682	0.0
帯　広	594	530	1,124	0	0	1,124	0.0
丘　珠	134	134	268	5	3	281	3.6
新千歳	16,132	14,658	30,790	249	3	31,291	1.6
青　森	924	971	1,895	1	0	1,897	0.1

○出発旅客数（A）	▪	表１（空港間純流動表）による、純流動ベースの空港別出発回答者数。 ※(D)、(E)欄と重複しない。
○到着旅客数（B）	▪	表１（空港間純流動表）による、純流動ベースの空港別到着回答者数。 ※(D)、(E)欄と重複しない。
○乗継旅客数（D） （当空港内）	▪	当空港において国内線間の乗継を行った回答者数。
○外部乗継者数（E） （当空港外）	▪	当空港と周辺の別空港との間で、国内線を乗り継ぐ為に陸上を移動した回答者数。(D)欄の外数。 例）新千歳空港内で国内線を乗り継いだ回答者は 249 人。別途、周辺空港との間を地上移動した回答者が 3 人。
○取扱旅客数（F）	▪	調査実施日における当該空港を利用した回答者の合計。但し、(D)欄を乗降の別で計上するために、2 倍した数字を(F)欄に計上している。また、(E)欄は一方が当該空港外となるため、片側のみ計上する。
○乗継旅客率	▪	当該空港を利用した回答者数全体に対する、国内線間の乗継利用の割合。

表６　ＯＤ別 旅行目的

表６は、空港間純流動ベース（表 1）による空港間 OD ペア別に、旅行目的の状況を集計したものである。

空港間 OD ペアは、直行便の運航がある平日調査 240 区間・休日調査 241 区間、並びに直行便が運航していないが、20 件以上の空港間 OD が確認された区間について記載し、20 件未満の場合には、「その他 OD」にまとめて記載するものである（以降、表 7・8・9-3・9-4・10 も同様）。

表７　ＯＤ別 旅行日数

表７は、空港間純流動ベース（表 1）による空港間 OD ペア別に、旅行日数の状況を集計したものである。併せて、「日帰り」以外の旅客については、本調査を受けた日が旅行中の何日目であるのか、集計して示している。

「調査を受けた日（宿泊を伴う旅客）」の合計欄の人数は、旅行日数の合計欄の人数から日帰りの人数を除いた値と一致する。

例）表７　OD 別旅行日数

平日　表7　OD別　旅行日数　(1)　　単位：人

ＯＤ名	旅行日数											調査を受けた日（宿泊を伴う旅客）										
	日帰り	%	１泊２日	%	２泊３日	%	３泊４日	%	４泊５日以上	%	不明	合計	１日目	%	２日目	%	３日目	%	４日目	%	５日目以上	%	不明	合計
羽田－新千歳	592	7.3	2,642	32.6	2,591	32.0	1,010	12.5	1,273	15.7	298	8,406	3,635	54.2	1,182	17.6	1,037	15.5	394	5.9	463	6.9	1,103	7,814
羽田－伊丹	927	17.8	1,885	36.1	1,345	25.8	514	9.8	550	10.5	160	5,381	2,178	57.0	781	20.5	493	12.9	181	4.7	186	4.9	635	4,454
羽田－関西	196	16.6	417	35.2	328	27.7	138	11.7	105	8.9	56	1,240	489	56.4	176	20.3	114	13.1	55	6.3	33	3.8	177	1,044
羽田－福岡	876	9.8	3,126	34.9	2,529	28.3	1,003	11.2	1,415	15.8	367	9,316	4,037	56.1	1,304	18.1	984	13.7	373	5.2	493	6.9	1,249	8,440
羽田－那覇	291	6.3	719	15.5	1,375	29.7	1,076	23.3	1,164	25.2	263	4,888	2,022	53.0	333	8.7	572	15.0	477	12.5	410	10.7	783	4,597
成田－新千歳	154	10.5	368	25.2	408	27.9	201	13.8	330	22.6	78	1,539	618	54.5	136	12.0	153	13.5	82	7.2	145	12.8	251	1,385
関西－成田	115	9.2	416	33.2	439	35.1	125	10.0	157	12.5	74	1,326	534	54.0	199	20.1	176	17.8	28	2.8	51	5.2	223	1,211
成田－福岡	89	5.9	414	27.7	469	31.3	204	13.6	321	21.4	100	1,597	642	54.0	187	15.7	168	14.1	64	5.4	127	10.7	320	1,508
成田－那覇	10	1.6	97	15.4	207	32.9	153	24.3	162	25.8	107	736	280	50.8	46	8.3	101	18.3	67	12.2	57	10.3	175	726
伊丹－新千歳	82	6.0	282	20.6	444	32.4	304	22.2	260	19.0	45	1,417	612	51.8	137	11.6	220	18.6	98	8.3	115	9.7	153	1,335

表８　ＯＤ別 旅行行程

表８は、空港間純流動ベース（表 1）による空港間 OD ペア別に、旅行行程の復路〔帰り〕に利用する予定の交通機関（復路に調査を受けた回答者は、往路〔行き〕に利用した交通機関）の状況について集計をしたものである。

表９－１　路線別 利用航空券の種類
表９－２　路線別 利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）

表９－１は、旅客が回答をした搭乗便（路線）における「利用航空券の種類」、並びに「座席の種類」について集計している。利用航空券の種類は、調査票の選択肢に従い、“普通運賃”、“往復割引”、“乗継割引”、“マイレージ特典”、“回数券”、“団体運賃・パッケージツアー等”、“その他割引運賃”の区分にて集計している。

表９－２は、“その他割引運賃”について、具体的な航空運賃の回答結果を基に、回答者搭乗便の普通運賃（令和５ 年 11 月時点）に対する割引率を算出した上で、7 区分にて集計をしている。また、普通運賃が複数存在する路線については*印を示している。

例）表９－１　路線別 利用航空券の種類

平日　表9-1　路線別　利用航空券の種類　(1)　　単位：人

路線名	航空券の種類															座席の種類					
	普通運賃	%	往復割引	%	乗継割引	%	マイレージ特典	%	回数券	%	団体・パック	%	その他割引運賃	%	不明	合計	普通席	%	普通席以外	%	不明	合計
羽田-新千歳	3,588	31.6	1,503	13.2	99	0.9	754	6.6	28	0.2	2,286	20.1	3,089	27.2	1,165	12,512	10,026	88.6	1,290	11.4	1,196	12,512
羽田-伊丹	1,651	26.5	1,184	19.0	79	1.3	751	12.1	47	0.8	646	10.4	1,862	29.9	566	6,786	5,130	82.7	1,072	17.3	584	6,786
羽田-福岡	4,333	35.3	1,736	14.2	64	0.5	832	6.8	30	0.2	1,741	14.2	3,525	28.7	1,203	13,464	10,645	86.8	1,620	13.2	1,199	13,464
羽田-那覇	2,093	27.5	1,167	15.3	43	0.6	604	7.9	11	0.1	1,899	24.9	1,797	23.6	1,095	8,709	6,647	86.5	1,039	13.5	1,023	8,709
伊丹-新千歳	558	32.3	197	11.4	6	0.3	123	7.1	3	0.2	414	24.0	424	24.6	155	1,880	1,549	90.7	158	9.3	173	1,880
伊丹-福岡	243	29.1	125	15.0	5	0.6	111	13.3	3	0.4	103	12.3	245	29.3	114	949	782	92.7	62	7.3	105	949
伊丹-那覇	328	30.9	116	10.9	6	0.6	87	8.2	1	0.1	294	27.7	230	21.7	123	1,185	937	87.7	132	12.3	116	1,185

例）表９－２　路線別 利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）

平日　表9-2　路線別　利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）　(1)　　単位：人

	路線名	令和5年11月普通運賃	その他割引(0～10%)	%	その他割引(11～20%)	%	その他割引(21～30%)	%	その他割引(31%～40%)	%	その他割引(41%～50%)	%	その他割引(51%～60%)	%	その他割引(61%～)	%	その他割引(不明)	その他割引合計
*	羽田-新千歳	41,100	52	2.7	90	4.7	83	4.4	165	8.7	200	10.5	298	15.7	1,016	53.4	1,185	3,089
*	羽田-伊丹	31,300	14	1.2	28	2.5	6	0.5	38	3.4	171	15.1	360	31.9	513	45.4	732	1,862
*	羽田-福岡	46,000	19	0.8	172	7.7	91	4.0	114	5.1	348	15.5	316	14.1	1,187	52.8	1,278	3,525
*	羽田-那覇	51,900	7	0.7	16	1.5	48	4.5	42	3.9	95	8.9	99	9.3	762	71.3	728	1,797
*	伊丹-新千歳	57,200			2	0.8	9	3.6	7	2.8	23	9.2	37	14.8	172	68.8	174	424
*	伊丹-福岡	30,500	1	0.6	5	3.2	3	1.9	17	11.0	60	39.0	28	18.2	40	26.0	91	245
*	伊丹-那覇	47,500	2	1.3	6	4.0	5	3.3	10	6.6	14	9.3	20	13.2	94	62.3	79	230

◎例えば、羽田－新千歳を利用した 52 人は、普通運賃 41,100 円の 0～10%引きの価格の航空券を利用したことを示している。

※なお、本調査は調査票の構造上、複数の国内線を乗り継ぐ場合には乗継先路線の利用航空券種を把握できない。

表９－３　OD 別 利用航空券の種類
表９－４　OD 別 利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）

表９－３・表９－４は、回答者の利用する空港間 OD 別に、表９－１・表９－２を集計したものである。ただし、国内線を乗り継ぐ回答者については、利用する空港間 OD のうち、最初に搭乗した区間のみが集計対象であり、乗継先の区間については調査対象となっていない。

直行便の無い区間における乗継運賃やパッケージツアーの利用状況の把握等に利用できる。

表 10　OD 別 乗り換え空港

表 10 は、空港間純流動ベース（表 1）による空港間 OD ペアについて、直行便利用と国内線乗継利用の件数、並びに乗継空港について集計したもので、乗継利用の多い順に、上位 3 空港までの名称を掲載している。但し、２回以上国内線を乗り継いだ回答者については、“２回乗継”とし、空港名を挙げずに集計している。また、国内線を乗り継ぐ為に、地上交通機関を利用して空港間を移動した場合(成田－羽田間等)も乗り換え回数として集計をしている。

表 11－１　出発空港別 最終アクセス手段　／　到着空港別 最初イグレス手段　／　駐車場利用の有無

表 11－１は、各空港について、回答者が出発地から出発空港に至るまでに最後に利用した交通手段（最終アクセス手段)、及び目的空港から目的地へ移動する際に、最初に利用する予定の交通手段（最初イグレス手段）について集計をしている。なお、集計区分は調査票に記載の 16 区分にて行っている。

また、最終アクセス手段“自家用車”の回答者については、駐車場利用の有無について、“空港内（空港内の駐車場に停めている)”、“近辺（空港外の近くの駐車場に停めている)”、“無し（同乗者が乗って帰った)”の 3 区分にて集計をしている。

表 11－２　出発空港別 代表アクセス手段　／　到着空港別 代表イグレス手段

表 11－２は、各空港のアクセス手段、イグレス手段として回答された複数の交通手段について、優先順位の高い交通手段を代表手段として集計している。交通手段の優先順位は下記のとおりとした。

【順位設定】（航空）＞（軌道系交通）＞（船舶）＞（道路交通）＞（その他）
選択肢：1. 国際線＞2. 新幹線＞3. 有料特急＞4. JR 在来線＞5. 私鉄・地下鉄＞6. モノレール＞7. 船＞8. 空港直行バス＞9. 高速バス＞10. 貸切・観光バス＞11. 路線バス・市内電車＞12. タクシー・ハイヤー＞13. レンタカー＞14. 自家用車等＞15. その他

表 12　出発空港別アクセス所要時間・乗り換え回数

表 12 は、各空港について、回答者が出発地から出発空港に至るまでに要した所要時間の合計（アクセス所要時間）と、アクセス交通の乗換回数について集計をしたものである。

表 13　出発空港別アクセス経費

表 13 は、各空港について、回答者が出発地から出発空港に至るまでに要した費用の合計（アクセス経費）について集計したものである。なお、公共交通機関だけでなく、自家用車等の利用者も集計に含んでいる。

表 14　出発空港別見送り人数・空港滞留時間

表 14 は、各空港について、回答者「1 人当たりの見送り人数」と、出発空港に到着してから搭乗便出発までの「空港滞留時間」について集計したものである。

回答者「1 人当たりの見送り人数」は、「見送り人数（問 4-3)」÷「本人含む同行者数（問 4-1)」として計算したものである。

表 15－１　空港間移動の手段
表 15－２　空港間移動の所要時間
表 15－３　空港間移動の経費

表 15 は、海外から国際線を利用して成田空港・関西空港・中部空港のいずれかの国際空港に到着した回答者のうち、国際線到着空港とは異なる空港から国内線に搭乗した回答者を対象として、空港間の地上移動の状況を集計したものである。

集計は下記の 4 区間について行っている。

【集計区間】

① 海外発 →（国際線）→ 成田空港 →（地上移動）→ 羽田空港 →（　国内線　）→ 国内各空港
② 海外発 →（国際線）→ 関西空港 →（地上移動）→ 伊丹空港 →（　国内線　）→ 国内各空港
③ 海外発 →（国際線）→ 関西空港 →（地上移動）→ 神戸空港 →（　国内線　）→ 国内各空港
④ 海外発 →（国際線）→ 中部空港 →（地上移動）→ 小牧空港 →（　国内線　）→ 国内各空港

＜集計対象区間＞　　＜本調査を受けた区間＞

附表１　路線別内際乗継利用回答状況（海外→国内線乗継）
附表２　路線別内際乗継利用回答状況（国内線→海外乗継）

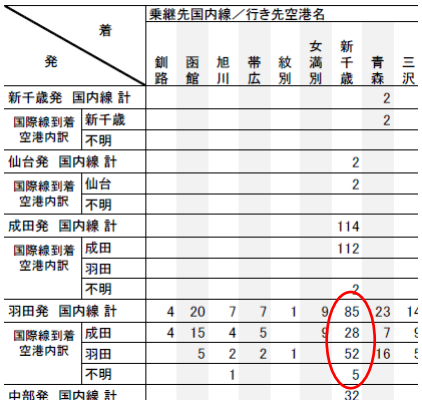
附表１／附表２は、国内線と国際線の乗継利用の状況について集計したものであり、海外を出発地、もしくは海外を目的地とした回答者に着目した集計表としている。

附表１は、海外を出発地とする回答者の「国際線到着空港」と、乗り継いだ先の国内線（路線名）について示している。なお、国内線を複数区間乗り継ぐ場合には、最初に搭乗する路線を集計している。

附表２は、海外を目的地とする回答者の「国際線出発空港」と、最後に利用する国内線（路線名）について示している。すなわち、国内線を複数区間乗り継いだ場合には、最後に搭乗予定の路線を集計している。

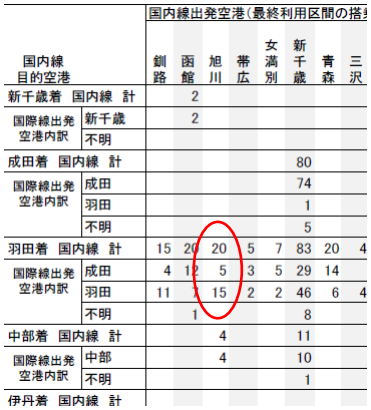
例）附表１　海外→国内線乗継

例）附表２　国内線→海外乗継



発＼着		乗継先国内線／行き先空港名 釧路	函館	旭川	帯広	紋別	女満別	新千歳	青森	三沢
新千歳発 国内線 計									2	
国際線到着空港内訳	新千歳								2	
	不明									
仙台発 国内線 計								2		
国際線到着空港内訳	仙台							2		
	不明									
成田発 国内線 計								114		
国際線到着空港内訳	成田							112		
	羽田									
	不明							2		
羽田発 国内線 計		4	20	7	7	1	9	85	23	14
国際線到着空港内訳	成田	4	15	4	5		9	28	7	9
	羽田		5	2	2	1		52	16	5
	不明			1				5		
中部発 国内線 計								32		

例えば、
左に例示する赤丸は、海外を出発地とし、羽田発新千歳行きの国内線を利用した回答者 85 名のうち、28 名は成田、52 名は羽田に国際線で到着したと回答し、5 名の国際線到着空港名が不明であったことを示している。



国内線目的空港		国内線出発空港（最終利用区間の搭 釧路	函館	旭川	帯広	女満別	新千歳	青森	三沢
新千歳着 国内線 計			2						
国際線出発空港内訳	新千歳		2						
	不明								
成田着 国内線 計							80		
国際線出発空港内訳	成田						74		
	羽田						1		
	不明						5		
羽田着 国内線 計		15	20	20	5	7	83	20	4
国際線出発空港内訳	成田	4	12	5	3	5	29	14	
	羽田	11	7	15	2	2	46	6	4
	不明		1				8		
中部着 国内線 計				4			11		
国際線出発空港内訳	中部			4			10		
	不明						1		
伊丹着 国内線 計									

例えば、
左に例示する赤丸は、海外を目的地とし、旭川発羽田行きの国内線を利用した回答者 20 名のうち、5 名は成田、15 名は羽田から国際線に搭乗すると回答したことを示している。

なお、附表１／附表２共に、日本籍・外国籍を合わせた集計結果であるが、調査票は一部の設問（問 1, 問 3-2、問 3-3、問 5-1）を除いて日本語のみで質問を行っており、日本語を理解できない場合には、国際線利用空港を回答出来ない点に留意する必要がある。

【参考】各集計表の集計範囲

調査日において、回答者 N が下図の様な動きをした場合、その行動は次頁に示すように集計される。

（回答者 N の動き）

- C 県に在住の回答者 N が、A 県 a 市を出発し、B 県の X 空港にて国内線（第 1 区間）に搭乗し、Y 空港で国内線（第 2 区間）を乗りつぎ、C 県の Z 空港で降機後、陸上交通で目的地 C 県 c 市に移動した場合。

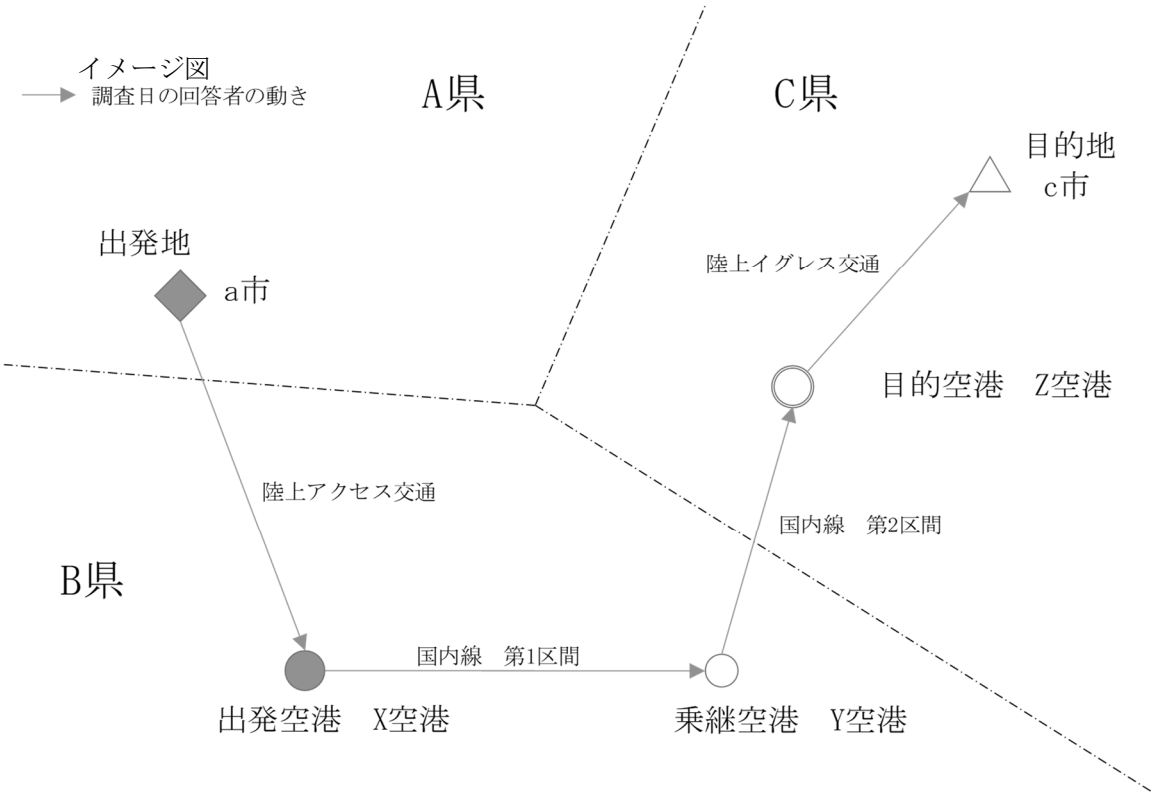


表１　空港間純流動表

- X 空港→Z 空港への移動を 1 トリップとして集計。

表２　空港間総流動表

- X 空港→Y 空港、Y 空港→Z 空港への移動をそれぞれ 1 トリップ、計 2 トリップとして集計。

表３　県間流動表

- A 県→C 県への移動を 1 トリップとして集計。

表４　空港別　出発地・目的地・現住所地

- A 県 a 市を X 空港の出発地として集計。回答者 N の現住所として C 県を集計。
- C 県 c 市を Z 空港の目的地として集計。回答者 N の現住所として C 県を集計。

表５　空港別　出発旅客数・到着旅客数・乗換旅客数

- 回答者 N は、X 空港の出発客、Y 空港の乗り換え客（×２）、X 空港の到着客として集計される。

表６　OD 別旅行目的／表７　OD 別旅行日数／表８　OD 別旅行行程

- 回答者 N の旅行目的／日数／行程は、空港間 OD（X 空港発 Z 空港着）の情報として集計される。

表９－１、９－２　路線別利用航空券の種類／その他割引率の内訳

- 回答者 N の利用航空券の種類・割引率の情報は、X 空港－Y 空港路線（国内線第 1 区間）の情報として集計される。

表９－３、９－４　OD 別利用航空券の種類／その他割引率の内訳

- 回答者 N の利用航空券の種類・割引率の情報は、X 空港－Z 空港間 OD の情報として、X－Y 空港間の利用券種等の情報が集計される。

表 10　OD 別乗り換え空港

- 回答者 N は、X 空港～Z 空港間の流動に対する、Y 空港乗継利用者として集計される。

表 11　出発空港別最終アクセス手段・到着空港別最初イグレス手段・駐車場利用の有無

- 回答者 N のアクセス交通手段と駐車場利用の有無は、X 空港の情報として集計される。また、利用したイグレス交通は Z 空港のものとして、集計される。

表 12　出発空港別アクセス所要時間・乗り換え回数／表 13　出発空港別アクセス経費／表 14　出発空港別見送り人数・空港滞留時間

- 回答者 N のアクセス所要時間、乗り換え回数、経費、見送り人数、空港滞留時間は、いずれも空港 X の情報として集計される。

回答者属性　単純集計表（性別・年齢・職業・年収・現住所）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
性別	男　性	92,270	60.0	100,543	52.2
	女　性	61,622	40.0	92,116	47.8
	（不　明）	13,497	－	15,983	－
	合　計	167,389	100.0	208,642	100.0
年齢	14歳以下	5,858	3.9	10,386	5.5
	15～19歳	3,026	2.0	5,934	3.1
	20～24歳	7,533	5.0	10,217	5.4
	25～29歳	10,294	6.8	16,229	8.6
	30～34歳	10,350	6.8	14,122	7.5
	35～39歳	10,730	7.1	13,435	7.1
	40～44歳	11,881	7.8	13,823	7.3
	45～49歳	14,152	9.3	16,458	8.7
	50～54歳	17,685	11.7	20,784	11.0
	55～59歳	16,995	11.2	20,748	10.9
	60～64歳	15,169	10.0	18,018	9.5
	65～69歳	12,018	7.9	13,048	6.9
	70～74歳	9,105	6.0	9,001	4.7
	75～79歳	4,405	2.9	4,564	2.4
	80歳以上	2,456	1.6	2,737	1.4
	（不　明）	15,732	－	19,138	－
	合　計	167,389	100.0	208,642	100.0
職業	管理的職業	32,773	21.7	29,625	15.8
	専門・技術・事務関係職業	33,055	21.9	52,550	28.0
	販売・サービス関係職業	21,745	14.4	21,577	11.5
	農業漁業関係職業	2,374	1.6	2,234	1.2
	生産・運輸関係職業	4,148	2.8	6,002	3.2
	その他の職業	19,073	12.7	27,765	14.8
	中学生以下	4,582	3.0	8,675	4.6
	高校生以上の学生	5,919	3.9	9,339	5.0
	主婦・主夫	13,704	9.1	16,289	8.7
	無　職	13,308	8.8	13,601	7.2
	（不　明）	16,708	－	20,985	－
	合　計	167,389	100.0	208,642	100.0
年　収 （税込み）	なし	18,622	13.2	26,910	15.5
	100万円未満	9,260	6.6	11,028	6.4
	100～199万円未満	8,636	6.1	11,595	6.7
	200～299万円未満	11,714	8.3	15,763	9.1
	300～399万円未満	13,566	9.6	19,509	11.3
	400～499万円未満	13,264	9.4	18,551	10.7
	500～699万円未満	19,462	13.8	23,992	13.9
	700～999万円未満	20,203	14.3	20,826	12.0
	1000～1499万円未満	15,540	11.0	14,548	8.4
	1500～1999万円未満	4,619	3.3	4,493	2.6
	2000万円以上	6,003	4.3	5,853	3.4
	（不　明）	26,500	－	35,574	－
	合　計	167,389	100.0	208,642	100.0

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
現　住　所	北　海　道	15,267	9.7	19,427	10.0
	青　森　県	992	0.6	1,277	0.7
	岩　手　県	433	0.3	863	0.4
	宮　城　県	2,341	1.5	2,559	1.3
	秋　田　県	1,234	0.8	1,638	0.8
	山　形　県	804	0.5	1,350	0.7
	福　島　県	606	0.4	1,073	0.6
	茨　城　県	2,042	1.3	3,259	1.7
	栃　木　県	830	0.5	1,111	0.6
	群　馬　県	859	0.5	1,081	0.6
	埼　玉　県	6,482	4.1	8,219	4.2
	千　葉　県	8,917	5.7	10,188	5.2
	東　京　都	25,550	16.3	30,273	15.6
	神　奈　川　県	12,678	8.1	14,972	7.7
	新　潟　県	1,091	0.7	1,419	0.7
	富　山　県	455	0.3	556	0.3
	石　川　県	745	0.5	916	0.5
	福　井　県	305	0.2	415	0.2
	山　梨　県	359	0.2	526	0.3
	長　野　県	618	0.4	1,108	0.6
	岐　阜　県	841	0.5	1,192	0.6
	静　岡　県	1,373	0.9	1,934	1.0
	愛　知　県	5,662	3.6	7,725	4.0
	三　重　県	783	0.5	1,136	0.6
	滋　賀　県	663	0.4	931	0.5
	京　都　府	1,498	1.0	1,956	1.0
	大　阪　府	10,203	6.5	12,512	6.4
	兵　庫　県	6,121	3.9	7,463	3.8
	奈　良　県	1,033	0.7	1,237	0.6
	和　歌　山　県	691	0.4	932	0.5
	鳥　取　県	624	0.4	917	0.5
	島　根　県	818	0.5	1,320	0.7
	岡　山　県	1,177	0.8	1,521	0.8
	広　島　県	2,187	1.4	2,906	1.5
	山　口　県	1,453	0.9	1,786	0.9
	徳　島　県	758	0.5	1,244	0.6
	香　川　県	1,055	0.7	1,378	0.7
	愛　媛　県	2,080	1.3	3,015	1.6
	高　知　県	999	0.6	1,554	0.8
	福　岡　県	10,440	6.7	12,218	6.3
	佐　賀　県	1,146	0.7	1,524	0.8
	長　崎　県	2,591	1.7	3,544	1.8
	熊　本　県	2,877	1.8	3,746	1.9
	大　分　県	1,602	1.0	1,932	1.0
	宮　崎　県	2,311	1.5	2,873	1.5
	鹿　児　島　県	4,045	2.6	4,402	2.3
	沖　縄　県	6,276	4.0	7,739	4.0
	海　外	2,863	1.8	1,539	0.8
	（不　明）	10,611	－	14,236	－
	合　計	167,389	100.0	208,642	100.0